

新潟県立武道館建設の歩み No. 5

2018年(平成30年)8月10日(金)

新潟県弓道連盟 副会長兼理事長 渡邊恵兒 (記)

暦の上では7日に立秋が過ぎました。しかし8月に入っても35℃超えの猛暑日が続くなど、今年の夏はやはり「異常気候」と言わざるを得ません。

この暑さの中、県立武道館の建設工事は順調に進んでいます。7月末までの進捗率は17%と報告されています。

先月の第4報では建屋の基礎工事の内容を報告しました。お盆の頃には「柱が立って」と、勝手な推測をしていましたが、下の写真にあるように8月に入るや柱が立ち、おぼろげながら建屋の形が見え始めるまでになりました。

この暑さに感けて、もう少し涼しくなったらなどと思っていたらいつの間にかという感じでした。慌てて現場に赴き写真をとったところ、暫く使っていなかったカメラの電池切れでアウト。一夜電池を充電して再トライしたのが今回の写真です。



柱が立ちました。県立武道館の正面玄関辺りになります。

武道館の建設作業は思った以上に順調に見えます。



この写真は、建屋の正面玄関周りになるでしょうか。

複数台のクレーンが材料の鉄骨を吊り上げ、着々と骨格が作り上げられていきます。連日の猛暑日を思うと、作業に従事されている作業者の皆さんの大変さが伝わってきます。

日に日に、武道館の形が現れて鳥瞰図面から、この辺が大道場かなと想像するだけでも楽しみが増してきます。

ただ、私たちから見ると、弓道場のところの作業が遅れているわけではないと思いますが、なかなか見えてきません。

楽しみは後になるほど夢が膨らむというものです。

8月21日（火）に、「県立武道館利用にあたっての説明会」が新潟県庁隣の自治会館で開催されます。

会員の皆さんの注目の的は「使用料金」になるのでしょうか。

「仏は作られています」、あとは、「どのような魂を入れるか」ということでしょうか。こちらも次報での報告と致します。



前のページの上の写真は、建屋の北側に配される吹き抜けの大道場です。
斜め内側に（向き合って）配列されている柱は、観客席になるのでしょうか。

下の写真は、駐車場側（建屋東側）から正面右手（北側）を見たところ。
写真の背景（奥手北側）に見える照明塔は、既設のテニスコートです。
赤いコーンの並ぶ辺りから奥が駐車場になります。

工事の進捗報告はこれくらいにしておきましょう。
次回の報告をお楽しみに。

第5報 完